

平成29年11月20日

保護者 各位

富山県立富山工業高等学校

校長 松倉 泉

北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る対応について

標記のことについては、下記のとおりとします。保護者におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 生徒自身の判断で、避難行動をとり、身を守ることができるようにする。

登校前・登下校時等で、Jアラート等の緊急情報が発信され、生徒自身が、判断・行動しなければならない場合があります。自宅・通学路での避難行動や落下物に対する対応(別紙1 参照)を学校同様、ご家庭で確認ください。

2 Jアラート等が発信された場合、登校前を含め全ての状況で、原則以下のように対応します。

Jアラート等が発信された場合の対応の流れ(登校前を含め、全ての状況で)

- (1) Jアラートの内容をよく聞く
- (2) 避難行動
- (3) 情報収集
- (4) ミサイルが「領土・領海」外に落下 → 通常教育活動
(登校時：安全確認後、登校)

- ミサイルが「領土・領海」に落下 → 臨時休業(臨時下校)
→ 自宅待機

3 留意事項

- (1) 領土・領海に落下した場合、原則、臨時休業となります。
- (2) 臨時休業の措置をした場合、情報を緊急連絡網や安全メールなどで連絡します。
- (3) その後の状況と判断によっては、学校から適宜連絡をいたします。

北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る Jアラート等を通じた緊急情報発信時等の行動について

1 Jアラート等を通じた緊急情報が発信された場合

○Jアラート等を通じた緊急情報の内容を聞き、落ち着いて直ちに次の行動をとる。

【屋外にいる場合】

- ・近くの建物（できればコンクリート造り等頑丈な建物）の中や地下に避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

【屋内にいる場合】

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

【自動車の車内にいる場合】

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて建物（できればコンクリート造り等頑丈な建物）の中や地下に避難する。周囲に避難できる建物や地下等がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

2 ミサイルが落下した場合の行動

○近くにミサイルが落下した場合に取るべき行動は以下の通り。

【屋外にいる場合】

- ・口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。

【屋内にいる場合】

- ・換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

【情報収集】

- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

【落下物について】

- ・落下物に有害な燃料が付着している場合も考えられるため、不用意に近づかない。速やかに警察、消防又は海上保安庁に連絡する。

3 臨時休業（自宅待機）について

- ・ミサイルが「領土・領海」外に落下した場合は、通常教育活動を行う。登校途中にJアラート等が発信された場合、安全確認後、登校する。
- ・ミサイルが日本の「領土・領海」に落下した場合、学校は、臨時休業（自宅待機）とする。登校途中の児童生徒は、情報収集し、安全な場所（自宅・学校等）に移動する。